

2012年7月27日

第4回「国際共同声明を読み込む講座」

リオ+20 成果文書（2012年）2

1. 今回のテーマ

前回に引き続き、リオ+20の文章を取り上げます。第1回と第2回では、文書を読む前に大きく異なる立場の解説をした上で、その立場の違いがどのように文章に表現されているのかを学んできました。

第3回からは、事前の背景知識なしに、まずは英文を読み、そこからどのような立場を読み取ることができるのか、その結果としてどのような対立が背景にあるのだろうかを探る技を学ぶ段階となります。つまり背景→英文表現の理解の段階から、英文表現→背景の理解の段階に移ります。

今回は、そうした読み込む技の基本となる「ロジカル・シンキング」の側面に焦点を当てて、文章の構造を論理的に把握するとともに自分が現場にいたらその場で反論等の主張ができるようになるための思考プロセスを学びます。

2. 今回の「学び」の目標

(1) ロジカル・シンキング

論理性をチェックする基軸フォーマット

3. 課題

(1) 前回までの「技」の復習（異なる立場への配慮）

<対立状況の妥協の表現>

<並列状況の妥協の表現>

パラ 69

パラ 71

パラ 63

(2) ロジカル・シンキング

- ・ 自分の中にどれだけロジックの「基軸フォーマット」を持っているか  
＝”Categorization”

パラ 58